

(参考)

第4回日米渡り鳥等保護条約会議について

1 会議の概要

標記会議は、日米渡り鳥等保護条約（正式名称は「渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその環境の保護に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の条約」：昭和49（1974）年9月19日発効）に基づき開催されるものであり、両国における渡り鳥等の現状、保護対策、調査研究等に関する情報交換及び今後の協力のあり方等が主なテーマです。

2 最近の会議実施状況

第1回会議：平成12（2000）年 5月 於 アンカレジ（米国）

第2回会議：平成14（2002）年10月 於 東京（日本）

第3回会議：平成16（2004）年10月 於 アンカレジ（米国）

注）平成12年以前は、天然資源開発全般に関して情報及び意見交換を行う「日米天然資源開発利用会議」の下で渡り鳥保護に関する会合を定期的に行っていた。

3 第4回日米渡り鳥等保護条約会議

(1) 日程 平成18（2006）年10月17日（火）

(2) 場所 東京

(3) 議題 渡り鳥等保全施策に関する情報交換
渡り鳥に関する共同研究
その他渡り鳥に関する両国関心事項
東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ

4 出席者

(1) 日本側 富岡 悟（環境省自然環境局長）
ほか環境省担当官、渡り鳥専門家数名

(2) 米国側 ポール シュミット
（内務省魚類野生生物局次長（渡り鳥プログラム担当））
ほか内務省担当官、渡り鳥専門家数名

第6回日ロ渡り鳥等保護・研究会議について

1 会議の概要

標記会議は、日ロ渡り鳥等保護条約（正式名称は「渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその生息環境の保護に関する日本国政府とソヴィエト社会主義共和国連邦政府との間の条約」：昭和63（1988）年12月20日発効）に基づき開催されるものです。両国における渡り鳥等保全に関する施策実施状況、保護対策、研究等に関する情報交換、今後の協力のあり方等が主なテーマです。

2 最近の会議実施状況

第3回会議：平成 5（1993）年 3月 於 モスクワ（ロシア）

第4回会議：平成 8（1996）年 2月 於 東京（日本）

第5回会議：平成15（2003）年10月 於 ハバロフスク（ロシア）

3 第6回日ロ渡り鳥等保護・研究会議

（1）日 程 平成18（2006）年10月18日（水）

（2）場 所 東京

（3）議 題 渡り鳥等保全施策に関する情報交換
渡り鳥に関する条約附表の見直しについて
日本及びロシアの渡り鳥等に関する協力について
東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ

4 出席者

（1）日本側 富岡 悟（環境省自然環境局長）
ほか環境省及び外務省担当官、渡り鳥専門家数名

（2）ロシア側 ウラジミール A. アンドロノフ
（ロシア連邦自然利用監督庁極東管区支部副支部長）
ほか外務省担当官、渡り鳥専門家